



▲播磨中学校での給食準備の様子

今年も蓬生庵の菖蒲が満開になるころ、北公園では蛍が飛び始めました。儂げな蛍の灯に幼きころの田園風景を思い浮かべた方も多いのではないのでしょうか。空梅雨のまま、夏を迎えようとしています。

◆6月5日、教育委員さんと一緒に中学校給食を試食しました。6月はむし歯予防週間ということで「噛む力を鍛えるメニュー」というタイトルがついていました。献立は「大豆ご飯、湯葉のすまし汁、豚肉の角煮、びわ、牛乳」でした。噛むことは脳の活性化にもなり、記憶力や集中力をアップする効果があるということですが、最近はやわらかい食べ物が増えているように思います。給食においては町の栄養士さんや調理員さんが、こうしたところにも気配りをしながら献立を考えていただいています。味付けもよく、おいしくいただきました。私も今年初めての「びわ」を思いがけず給食でいただくことになり、ちょっとしたサプライズでした。昨年の給食で「びわ」を出した時には、「びわ」の食べ方を知らない生徒もいたようで、今年は事前にレクチャーをされたとか。旬のものや季節感のある食材を知るいい機会ともなっていると思います。月末にはさくらんぼも予定されているとか。配膳風景や食事の様子も見せていただきましたが、整然とした和やかな給食風景で、落ち着いた学校運営ができているという印象を受けました。配膳後、それぞれが自分で好みのものをお代わりして、運動クラブに所属している男子の前には山盛りのご飯がありました。教室で量の配分もうまくできていて、改めて、生徒全員が同じ昼食を味わうことができるという給食の効果を実感しました。給食は今、学校現場で確実に成果を挙げています。

播磨町長 清水ひろ子

交通安全教室

危機管理グループ ☎079(435)0991



5月、播磨町立4小学校の1年生延べ352人、3年生延べ338人を対象とした交通安全教室を望海公園の交通公園を利用して実施しました。



加古川警察署のお巡りさんから歩行の仕方や自転車の正しい乗り方をご指導いただき、交通指導員さんやPTAの方々と一緒に、3年生は自転車の運転を1年生は歩行の実践演習をそれぞれ実施しました。

子どもたちは、楽しい雰囲気の中、しっかり交通ルールを学びました。

子どもたちは、楽しい雰囲気の中、しっかり交通ルールを学びました。

日本非核宣言自治体協議会総会・研修会に参加

企画グループ ☎079(435)0356

播磨町は昭和57年に非核宣言を行っており、日本非核宣言自治体協議会にも加盟しています。

このたび長崎市内で行われました日本非核宣言自治体協議会の総会・研修会に議会副議長と町理事が参加してきました。この会は、自治体の住民が核兵器の脅威を感じることなく安心して暮らせる地域社会の実現に向けて、平和な世界と一緒に作る思いを共有する自治体の集まりです。

研修会では、講演会や被爆体験講話、平和朗読劇を視聴したり、被爆・平和関連施設を視察しました。原爆の恐ろしさや平和の尊さ、戦争の悲惨さを学び、今後の平和行政の推進に役立てていきます。



▲平和朗読劇「長崎原爆秘話 ふりそでの少女」劇団 TABIHAKU

楽屋裏
企画グループにも、トライやるの生徒がやってきました。生徒たちを見てみると、私自身がトライやるでお世話になったことを思い出しました。あのときは見守ってもらおう立場が、今では見守る立場になりました。生徒たちには、立派な社会人に見えたかどうかが不安です。
また生徒たちを見てみると、入庁した2カ月前を思い出しました。そのときの私も同じように、希望や不安が入り交じっていたなと思えました。
生徒たちの頑張りを見てみると、初心を忘れずに、日々精進していること改めて思いました。(種)

第3回播磨町町長杯将棋大会

中央公民館 ☎079(437)6980

6月2日に日本将棋連盟棋士会副会長の井上慶太九段を審判委員長にお迎えし「第3回播磨町 町長杯将棋大会」が開催されました。参加者は東播磨地域を中心に小中学生の部39人、一般の部57人の計96人があり、遠くは広島や高知県、また近隣府県からも多数の参加者がありました。

一般Aクラスに7人もの小学生が挑戦し、岡本詢也君(東神吉小学校5年生)が、並み居る大人を退け見事優勝されました。また、Bクラスでは岩田浩之さん(古宮)が4位、Cクラスでは竹林賢二さん(大中)が準優勝されました。大会関係者からは「この大会も回を重ねるごとに、女流、小学生の実力者の参加が多くなり、将来有望な棋士の姿が見えるようです」との言葉もあり、少年棋士たちの今後の活躍を期待しつつ盛会裏のうちに大会を終えることができました。



山元町からの手紙

今回は山元町の被災状況をご紹介します。

山元町は、津波によって町の37.2% (24km²) も浸水し、多くの建物が流出しました。

沿岸部に位置していたJRも甚大な被害を受け、2年以上経った今でも運行は再開していません。山元町ではJRを内陸に約1km移設し、新駅など周辺に新市街地を形成する計画を進めています。復興はまだまだ途中。むしろ始まったばかり。

住民、企業、ボランティア、行政職員、皆が前向きに復興への日々を積み重ねています。

廣岡千春



※震災復興支援のため、播磨町職員が宮城県亘理郡山元町に派遣されています

旭日単光章を受章

長年にわたり地方自治に功労があり、満88歳を迎えられた森さん、濱脇さんが高齢者叙勲(旭日単光章)を受章されました。



森 隆司さん(西野添1丁目)
森さんは、昭和30年から3期12年、町議会議員として勤められ、また教育委員、教育委員長としても16年勤められました。地域においても社会福祉協議会理事長やコミセン委員長、自治会長などを歴任され、町の発展のために活躍されました。



濱脇 武久さん(本庄2丁目)
濱脇さんは昭和50年から3期12年、町議会議員として勤められました。また地域においては本庄東自治会長として活躍されました。清水町長は、「これからも健康に留意され、地域のために頑張ってください」と受章を称えました。



左から
ほんじょう あかり あさひ ひまり
本庄 暁陽ちゃん、朝陽くん、絢陽ちゃん
(宮西)

いつまでも3人仲良く、笑顔でいてね
(父・母より)